

和歌山県教育委員会
資料提供

令和6年11月29日 14:00

特別展「聖地巡礼—熊野と高野—」

第Ⅳ期「熊野信仰の美と荘厳—熊野速玉大社の神像と古神宝—」

開幕！

和歌山県立博物館では、令和6年6月15日(土)から翌年3月9日(日)までの会期で、特別展「聖地巡礼—熊野と高野—」を開催しています。12月7日(土)に開幕する第Ⅳ期の展示は、「熊野信仰の美と荘厳—熊野速玉大社の神像と古神宝—」と題し、熊野速玉大社が誇る神像と古神宝をご紹介します。展示資料は全30件33点(国宝3件24点、重要文化財1件4点、和歌山県指定文化財・重要美術品1件1点、新宮市指定文化財1件1点)です。詳しくは開催概要・チラシをご参照ください。

- 【**展覧会名**】 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念特別展
「聖地巡礼—熊野と高野—」
第Ⅳ期「熊野信仰の美と荘厳—熊野速玉大社の神像と古神宝—」
- 【**会期**】 令和6年12月7日(土)～令和7年1月19日(日) 展示期間33日
※休館日：月曜日、ただし12月29日(日)～1月3日(金)は年末年始のため休館、1月13日(月・祝)は開館し、翌日の1月14日(火)は休館。
- 【**主催**】 和歌山県立博物館
- 【**展示会場**】 和歌山県立博物館 1階企画展示室
(〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14)
※常設展「きのくにの歩み」と併催
- 【**開館時間**】 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 【**入館料**】 一般520円(420円)、学生310円(250円)
※()は20名以上の団体料金。高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内の学校に在学中の外国人留学生は無料。
※会期中の各月第1日曜日(12月8日(日)、1月5日(日))は入館無料。
※特別展「聖地巡礼」のスタンプラリーも実施！

(連絡先)

県立博物館 学芸課

担当：学芸員 原田 直輝

電話：073-436-8670(代表)

E-mail : admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

みどころ1 くまのはやたまたいしゃ かみがみ 熊野速玉大社の神々のすがた

雄大な自然に囲まれた熊野速玉大社に伝わる、
威風堂々とした国宝・熊野速玉大神坐像【写真1】
と、優しさを湛える国宝・夫須美大神坐像【写真2】。
造像は平安時代前期まで遡ると考えられています。
1000年を超える熊野速玉大社への祈りの歴史を象徴する、日本の神像彫刻屈指の名品です。



【写真1】国宝 熊野速玉大神坐像 (熊野速玉大社蔵) 【写真2】国宝 夫須美大神坐像 (熊野速玉大社蔵)

みどころ2 豪華絢爛、古神宝の数々

熊野速玉大社には、あしかが 明德元年(1390)、天皇・上皇・足利よしみつ 義満らが中心となって、熊野速玉大社の神々へあてて奉納した神宝が、今に伝えられています。その総数は約1000点におよび、「古神宝類」として一括で国宝に指定されています。本展では、そのうち19件22点を展示します。

【写真3】は、室町幕府三代将軍足利義満が奉納した、手箱と化粧道具の一式です。内容品の隅々まで華やかに飾られ、神の宝というにふさわしい美しさを誇ります。中世工芸の精華と名高い古神宝の美を、是非ご堪能ください。



【写真3】国宝(古神宝類のうち) 桐唐草蒔絵手箱および内容品 (熊野速玉大社蔵)

みどころ3 名宝を伝えゆく営み

はるか昔につくられた熊野速玉大社の神像や古神宝類は、火災や劣化、流出など、度重なる危機を乗り越えて、現在まで伝えられてきました。

【写真4】は、熊野速玉大社周辺の人々によって、火事や流出などの度重なる危機から大切に守り伝えられ、近年大社へ奉納されたひおうぎ 檜扇です。本展では、宝物の流転の歴史や、神像や古神宝類の修理についてもご紹介します。



【写真4】和歌山県指定文化財・重要美術品 彩絵檜扇 (熊野速玉大社蔵)

みどころ4 常設展も衣替え！コーナー展示「熊野速玉大社と古神宝」開催

特別展の期間中、常設展示室「熊野詣」くまのもうで コーナーにて、コーナー展示「熊野速玉大社と古神宝」を開催。特別展とあわせて、熊野速玉大社にまつわる館蔵品とともに、熊野速玉大社の古神宝をさらにご紹介します。